

協会ニュース

令和6年9月10日
中国地区品質経営協会
広島市西区横川町3丁目5番9号(世良ビル404号)
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845
e-mail qmac@a1.mbn.orjp URL http://qmac.jp/

令和6年度第1回シンポジウム「市場創造と技術革新」

- ◆ 開催日時 : 令和6年8月27日(火) 13:20 ~ 17:00
- ◆ 場 所 : 広島商工会議所ビル101会議室 (Web配信も同時実施)
- ◆ 参加者 : 26企業・団体 365名

令和6年度第1回目のシンポジウム「市場創造と技術革新」は、『人工知能の最新技術動向と活用事例』をテーマとし、当協会会員である日本規格協会様のご協力により開催しました。

ChatGPTという革新的な技術の登場により、生成AIなどAI(人工知能)の活用がビジネスの各分野で注目を浴びています。しかし、AIをどのように活用すべきか、導入・活用に向け悩んでいる企業が多いのではないのでしょうか。

そこで、今回のシンポジウムでは、AIの活用に関わられている講師2名をお招きして、ご講演を頂きました。

第一部の講演では、株式会社日立製作所 Generative AIセンター長 吉田 順様に『生成AIとともに日立が実現するAIトランスフォーメーション』と題し、日立グループ内での生成AI活用の事例や日立のお客様への適用事例を多面的に分かりやすく説明をしていただきました。また、今後の活用方法や可能性についてお話を頂きました。

第二部の講演では、中国電力株式会社 デジタルイノベーション本部 マネージャー 金村 一弘様に『デジタルトランスフォーメーションにおけるAI活用の実践と教訓』と題し、中国電力様内でのAIをはじめとしたDX導入の際の悩みや苦勞を具体的な事例を元にお話頂き、参加者の皆様の参考にして頂きやすい講演となりました。

お二人のご講演後、当協会の運営委員長である広島工業大学 学長 長坂 康史先生のコーディネートによるパネルディスカッションを行いました。参加者からの質問に講演者が回答する形で、講演内容が深掘りされ、参加者の理解もより深まったのではないかと思います。

当日は、会場およびWebを合わせて365名の方に参加いただきました。アンケート結果では、「生成AIを使うためのコツが理解できた」、「身近な事例をご紹介頂き、導入に向けた推進方法が参考になった」等、生成AIの活用に前向きな感想が多く寄せられており、大変有意義なシンポジウムとなりました。



株式会社日立製作所
吉田様



中国電力株式会社
金村様



パネルディスカッションの様子
(左から、コーディネーターの長坂先生、吉田様、金村様)